

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人
三木 勉

印刷部数11万3700部
(購読料は組合費のな
かに含まれています)
(年間購読料 千八百円)
定価 五十円

けんせつ

東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

国保組合補助確保のハガキ要請

国保組合補助の概算要求2962.5億円の確保のため、財務省へのハガキ要請行動を取り組みます。組合員・家族一人につき1シート4枚を群会議で書きましょう。11月を重点とします。

仲間づくり人づくりで組織強化

目標はなさず 秋の拡大月間

府中国立 100人以上の実増追求

対話重視して組織を強化

【府中国立・書記・水川克治通信員】府中国立支部では「4年連続100人以上の実増を、組織強化と脱退対策のさらなる前進で達成しよう」と、スローガンを掲げ、



仲間づくりの後継者対策バスレク

スタートを切りました。9月3日に小金井公園BQ場で出陣式を行ない、過去最高の240人を集めました。その際、新加入者の持ち寄り各分会2人以上としま

したが、予想を大幅に上回る、48人の成果がありました。この時点で目標の半分を越えました。これは秋の仲間づくり月間を出陣式からではなく、「準備行動」として8月下旬からスタートしたためです。事業所訪問も益明けから開始し、早めの対象者紹介を依頼しました。この一連の「準備行動」が功を奏し、幸先の良いスタートが切れました。

島目に見える成果が ヤングWith群会議

【豊島・とび・桑山浩司記】後継者対策部では、若手が若手を訪問する「ヤングカムカムデー」を行っていました。後継者部員が集まれる時間帯が夜になるため、どうしても夜間行動がメインとなっていました。遅くまで仕事が入り、不在の組合員が多かったり、子どものいる家庭もあって、行動参加者も、単に訪問するだけでなく、対話の糸口になる「聞き取りアンケート」「今秋のメリット集」等を片手に、対話を重視し、悩みや考えていることを引き出し、解決することで信頼を勝ち取り、対象者に結びつくといった好循環も生まれました。社会保険未加入問題も、春

10月も後継者対策部のバスレクなどをはじめとした仲間づくりをすすめます。今後は、残りの対象者を当たり切りに、今年100人以上の実増を、最後まで追求していきます。



末政椎名町分会後継者対策部長(右から2人目)と桑山支部後継者対策部長(右端)



企業に利益を還元させようと思意統一した

法定福利費確保必ず 66回建設・住宅企業交渉

全建総連 関東地方協議会連絡会は10月19・20日(一部別日程)、日本教育会館で第66回建設・住宅企業交渉を開催しました。今回の交渉先企業はゼネコン28社、サブ

全建総連の勝野圭司書記長は「社会保険加入を継続していくためにしっかり請求をして確保していく取り組みをすすめる」「働き方改革で、建設労働の稼働日数が減っても賃金が減らないようにさせる」「総選挙は安倍政権の5年間が評価される。アベノミクスは生活を良くしたのか。圧力による対外政策や9条改憲をやめさせるなど重要課題を推進する機会だ」と述べました。

また現場からの報告では千葉土建市川支部の松島謙P A Lの会長と東京土建本部の松本久人貸対部長が社会保険不払い問題で発言しました。要求説明を行なった長谷部

■先日、雨宮処凛さんの話を聞く機会があった。テーマは「私にとっての戦争のリアル」。三多摩平和交流会でのトークセッションだ。雨宮さんは、日本は戦争や政治に関心を持たなくとも一生を終われる、消費行動だけしていればよい、世界でも唯一な国だと指摘した。

■交流会の参加者から、どうやって仲間を増やしたかと質問が出た。雨宮さんは「一緒に何かをやりたい相手からは話を聞くことをしてきたと答えた。思いもよらないニーズや悩みが出てくるし、どういうことを考えているのか知ること、困っていることに寄り添うことからしか始まらない。そうして自分の問題意識と怒りが共有できたときに一気に仲間が広がったと思う。■自己肯定感が大切とも強調していた。生きつらさ、苦しむ人に、怒れと言っても、それまで社会と関連付けを許されず、自己責任と言われ続け、自己肯定感破壊されてきたわけだから、自分を追い込むことにはならないという。■なかなか話したがらない仲間こそ、生きつらさにつながる大きな悩みを抱えているのかもしれない。秋の拡大運動でも大勢の仲間が仲間を訪問したのだが、一緒にこの組合で生きつらさを解決しようと、これからは仲間と対話を続けて行くことが大切なのだろう。」